

駐車編





前向き駐車

前向き駐車

Basic
training

トレーニング

【目的】

大回りの感覚を再確認する
(切り返しの感覚につながる)

【方法】

右図を参考に自分の感覚でチャレンジ！
インストラクターの見本
(補助ハンドル)

【ポイント】

後輪の軌跡をイメージする
大回り
ハンドルの回し始め

早い段階で良い位置に
ポジション出来れば
調整スペースが生まれる

右の線を踏むよう
な視界になる

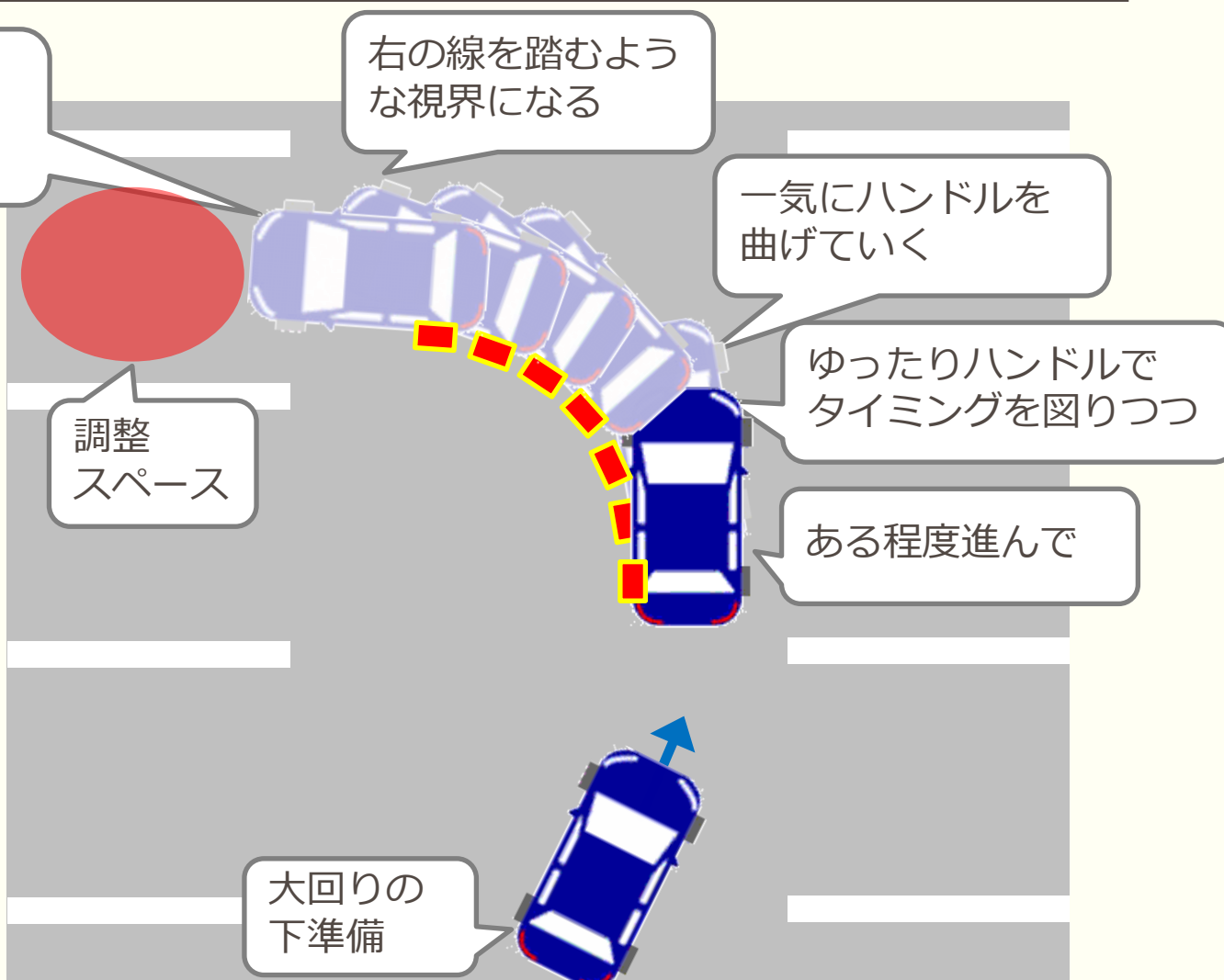
一気にハンドルを
曲げていく

ゆったりハンドルで
タイミングを図りつつ

ある程度進んで

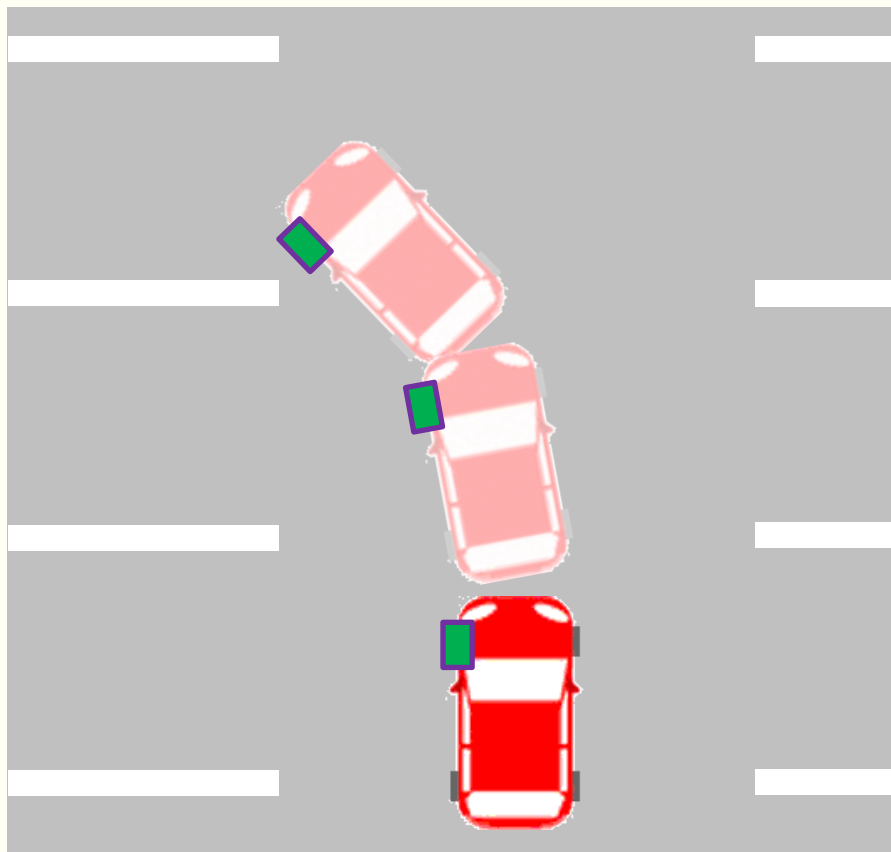
調整
スペース

大回りの
下準備



前向き駐車失敗例

Basic knowledge

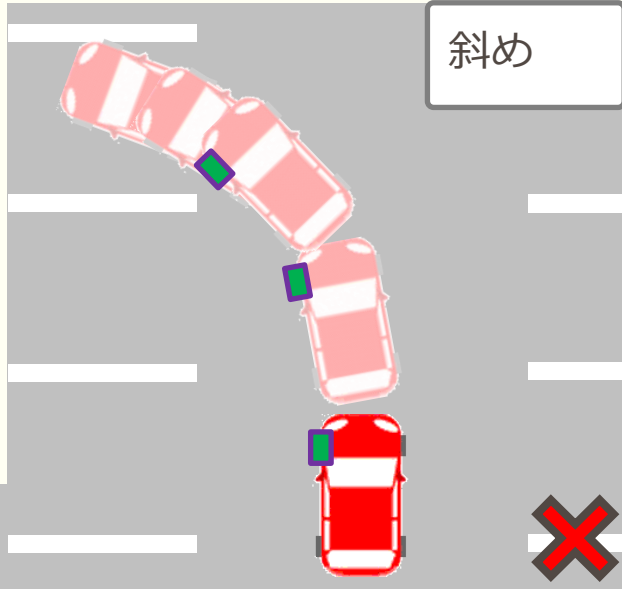


大回りしなかったり、前輪の意識が強く、前輪を入れようとしてしまうと…

その後、左の後輪が軸になるため



左寄り



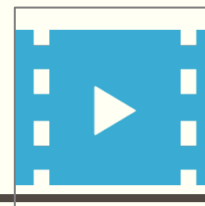
斜め





ポジション取り

ハンドルのセンタリング



Basic
knowledge

駐車練習を行うと「ハンドルのまっすぐ」（タイヤのまっすぐ）が解らなくなってしまうがちです
ここでは「ハンドルのまっすぐ」（タイヤのまっすぐ）を確認する方法を学びましょう

限界点から導き出す方法

- ①ハンドルを限界まで回す
→約1回転半と確認できる
- ②ハンドルを1回転半戻す

どっちの方法でもOKです



復元力から導き出す方法

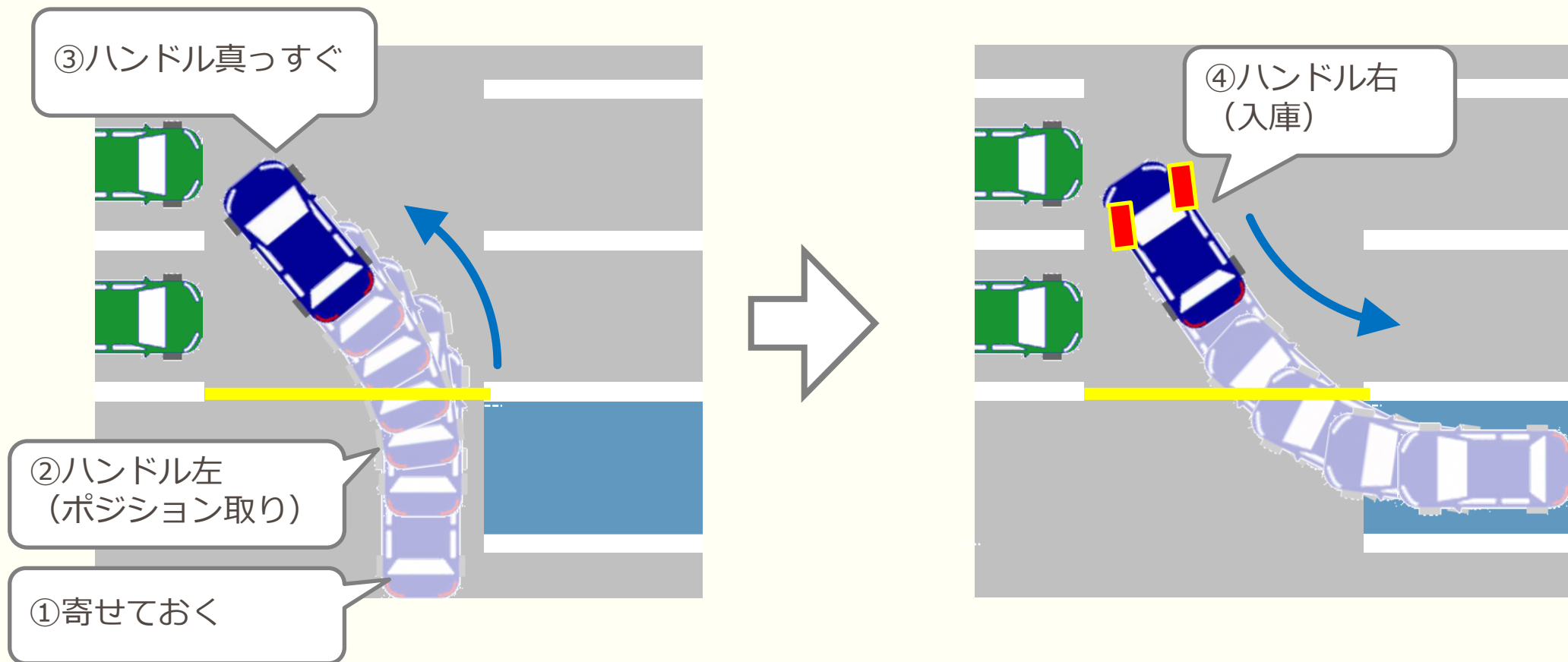
- ①ハンドル（タイヤ）が適当に曲がっている状態を作る
- ②少しだけ車を前に進めて**戻る方向を確認する**
(ハンドル・タイヤがまっすぐに戻ろうとする)
- ③戻ろうとした方向にハンドルを回す
(ハンドルが「正の位置」で再度②を行う)

大きく前に出ると台無しになるよ
前に出るのは**少しだけ**だよ！



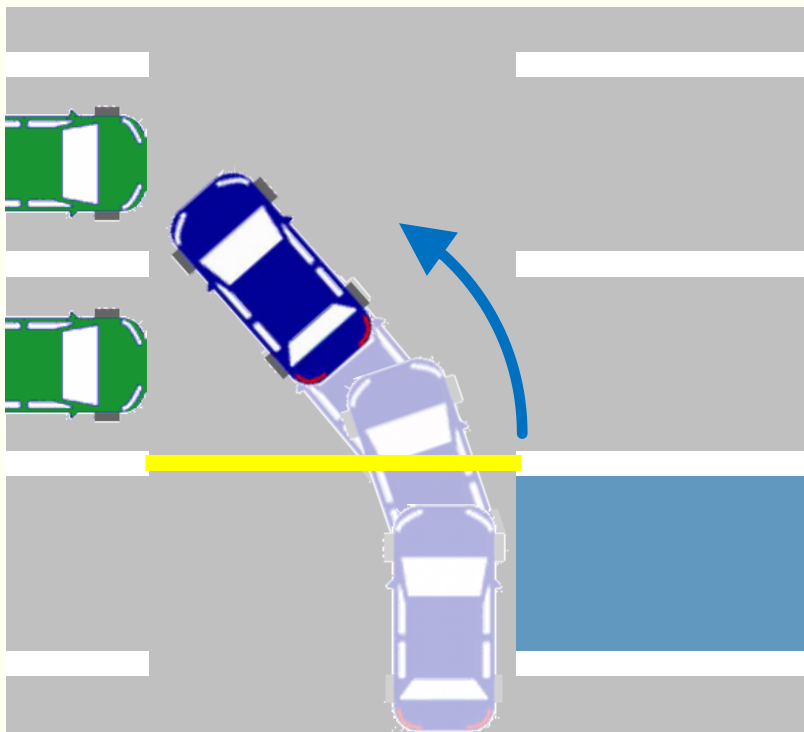
駐車全体のイメージ

Basic
knowledge

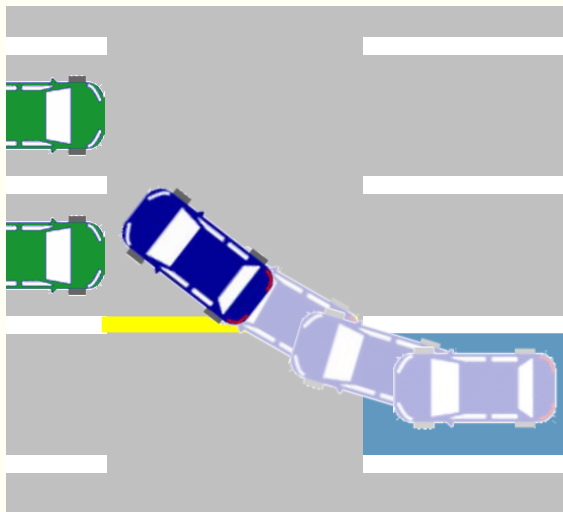
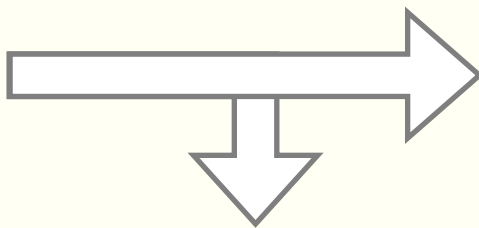


ポジション取りのポイント

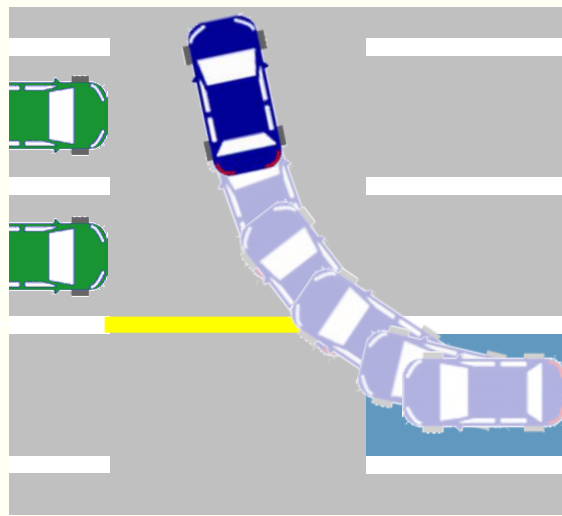
Basic knowledge



ポジション取りの考え方は「黄色の線を超える」こと
黄色の線さえ超えていれば

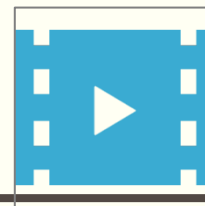


角度を立てても入る

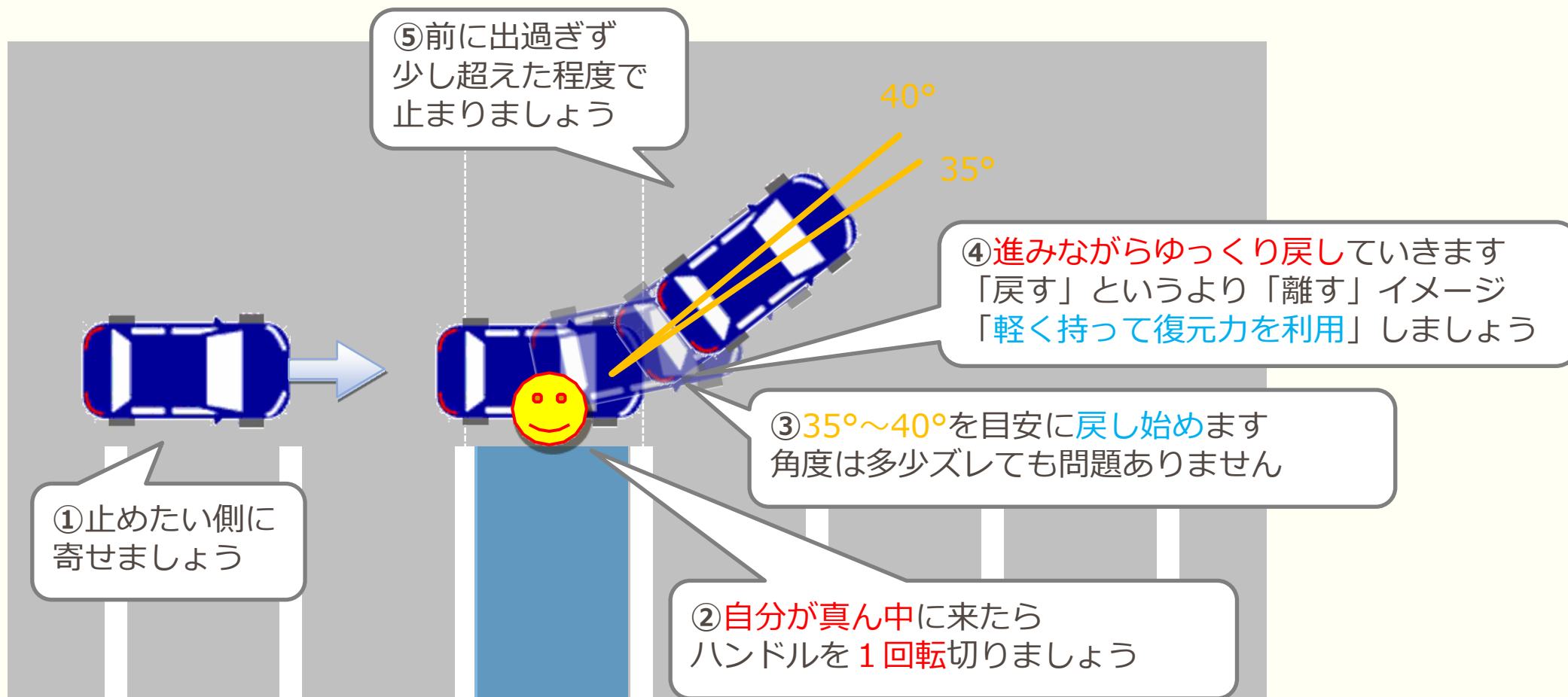


角度を寝かせても入る

ポジション取りの手順（基本系）



Basic
training



ポジション取り・参考画像



Basic
knowledge



①寄せる幅の目安



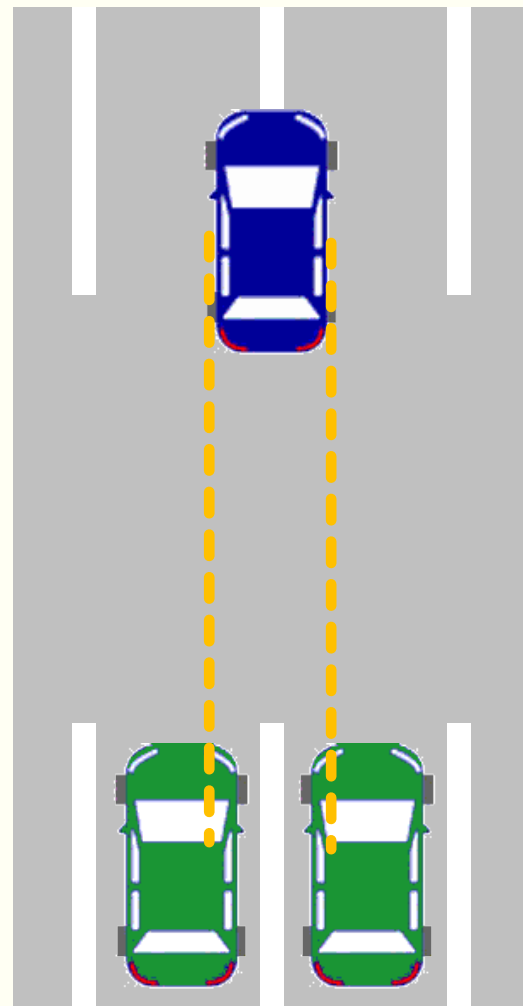
②ハンドル1回転する場所（自分が真ん中）



入庫

ミラーの基本構造

Basic
knowledge



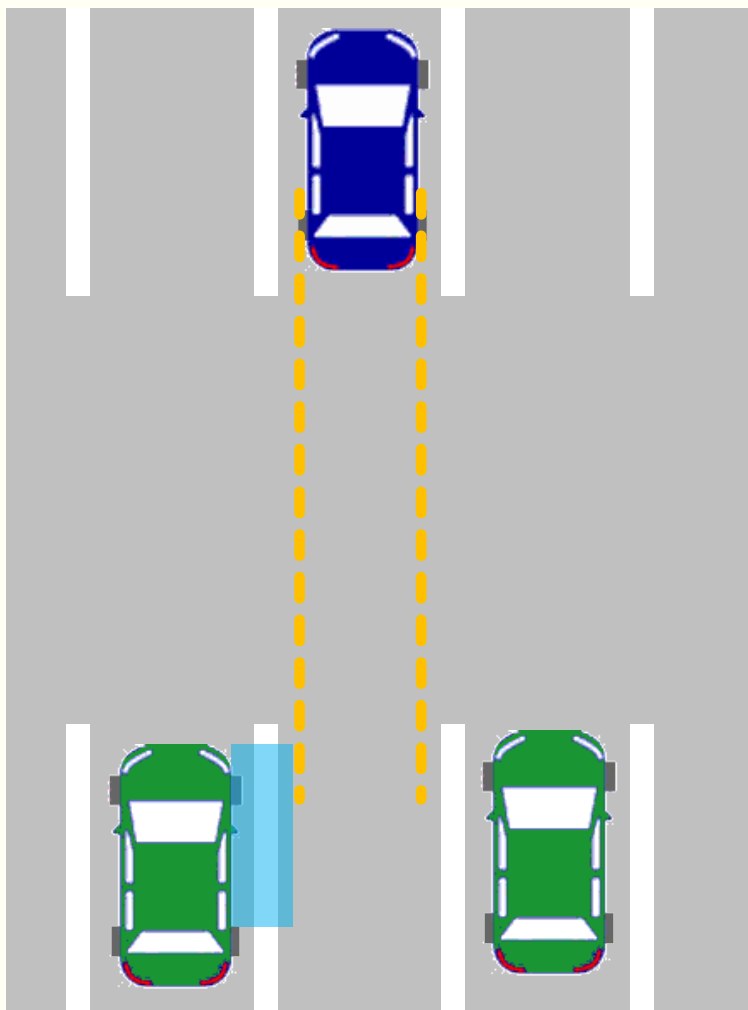
ボディラインの延長線上にある物体
とはぶつかります

こんな見え方したら
ぶつかるよ



ミラーのすき間

Basic
knowledge



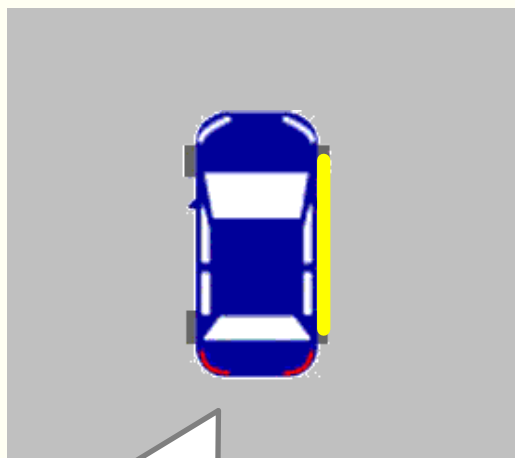
「ボディライン」と「隙間」
で「空間管理」をしていきま
しょう

すき間の幅を
管理しましょう

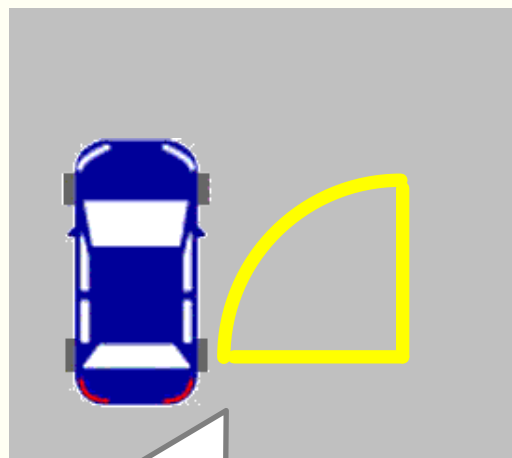


ハンドル全切りとバックの仕組み

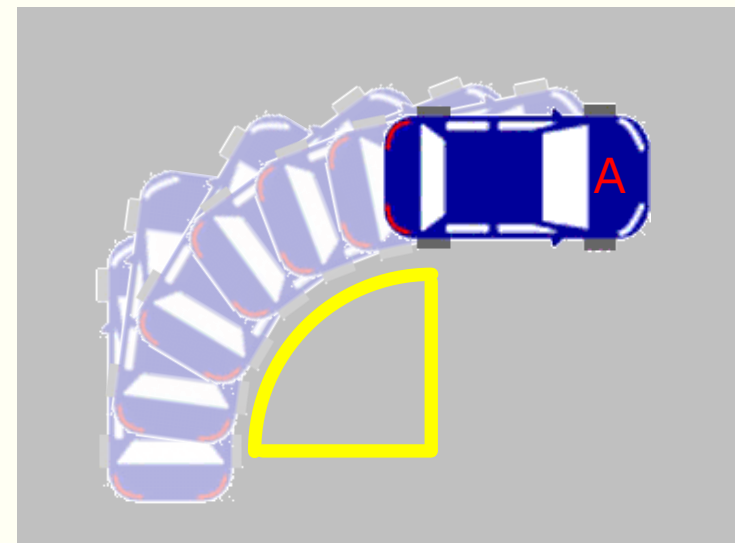
Basic
knowledge



前輪と後輪の距離を
線で引きます



線を図の様に
展開します



ハンドルを全切りして進むと
「車の動き」と「図のR」は
イコールになります

逆に考えると
「Aの状態からハンドルを全切り」
すれば、簡単に入るといことです



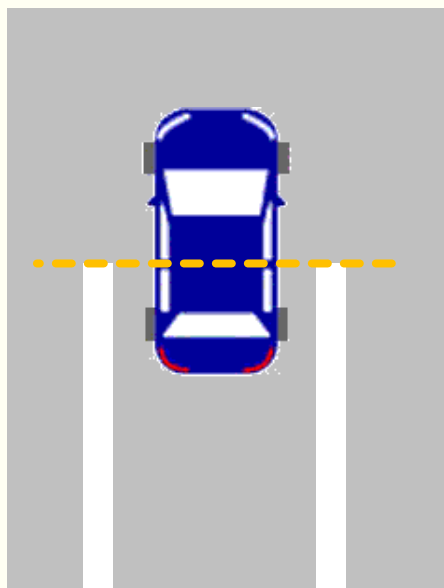
「R」の大まかなイメージを
掴んでおきましょう

入庫の大まかなイメージを掴もう

トレーニング

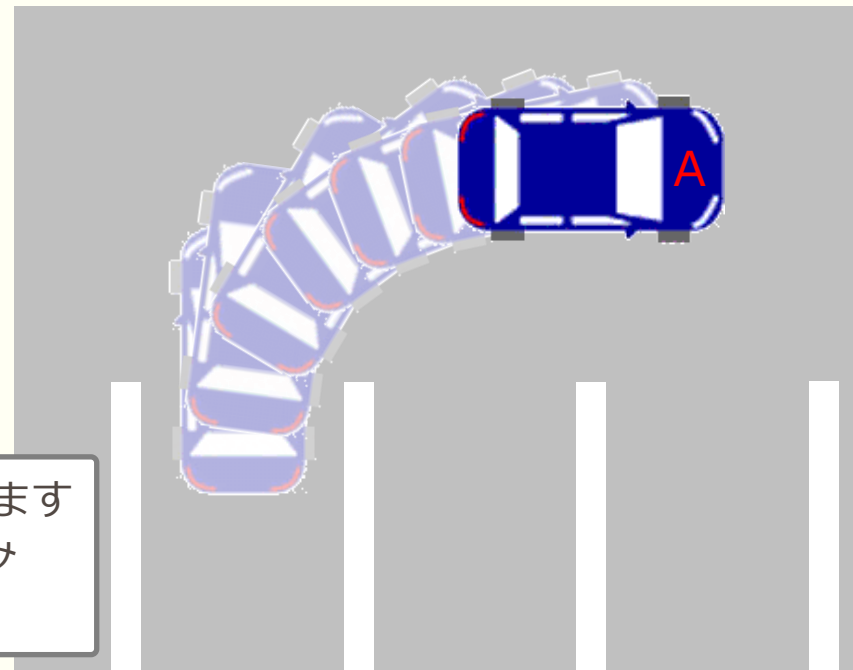
【目的】

入庫の「大まかな」イメージを掴む



①点線と自分の肩を合わせます
(適当で大丈夫です)

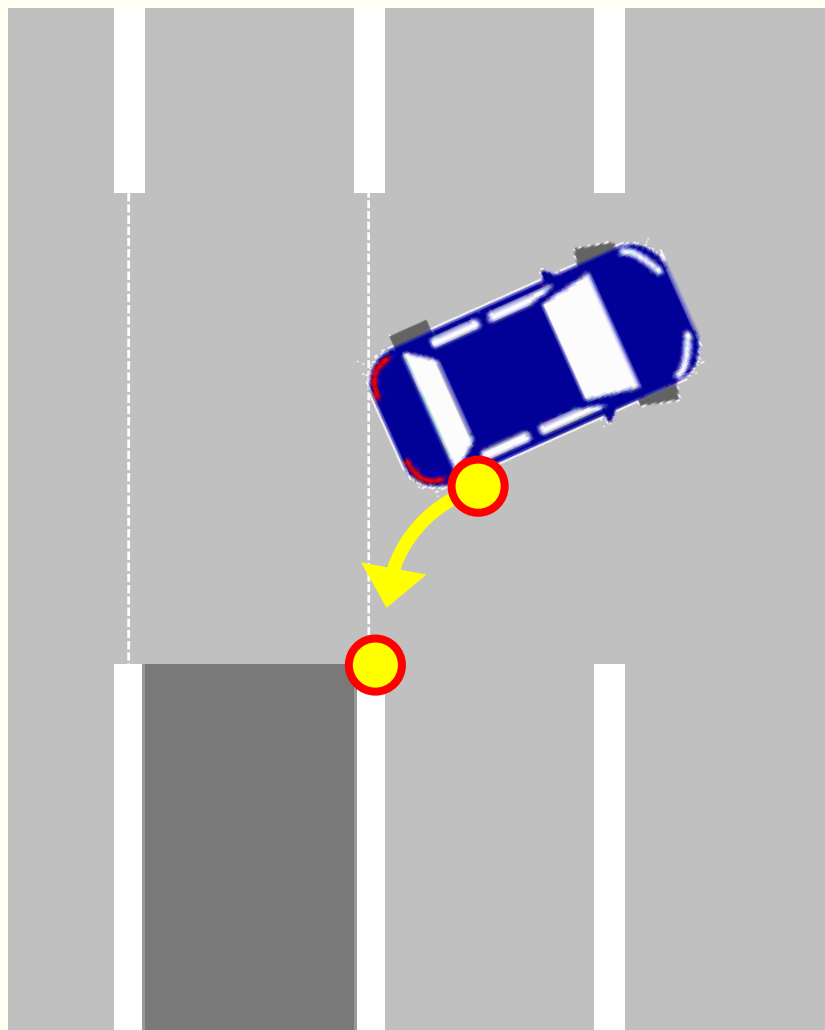
②ハンドルを右に全切りします
全切り状態で「A」まで進み
平行を取りましょう



③ハンドルを一切動かさずに
「Aの状態」からバックしてみましょ
うすると元の位置に戻ります
元の位置に戻る動きが入庫の「大まかな」イメージ
になります

入庫トレーニング

Basic
training



トレーニング

【前提条件】

状況把握（自車と入れたい場所の関係を把握する）

【見る場所】

- A) 右後の目視
- B) 右のサイドミラー
- C) 左のサイドミラー
（途中から見えてくる）
（見えた後は両サイドのバランスを取る）

【方法】

「右の後輪」と「白線の先端」を合わせていくイメージで下がってみましょう

【POINT】

失敗の原因として大いなのが「足元の意識飛び」です
スピードが速い状態で入庫すると必ず失敗します

状況把握とイメージング

- ①入りたい場所を理解する
- ②「後輪」と「ポイント」を「曲線で結ぶ」イメージング



下がりながら
回しながら だよ！



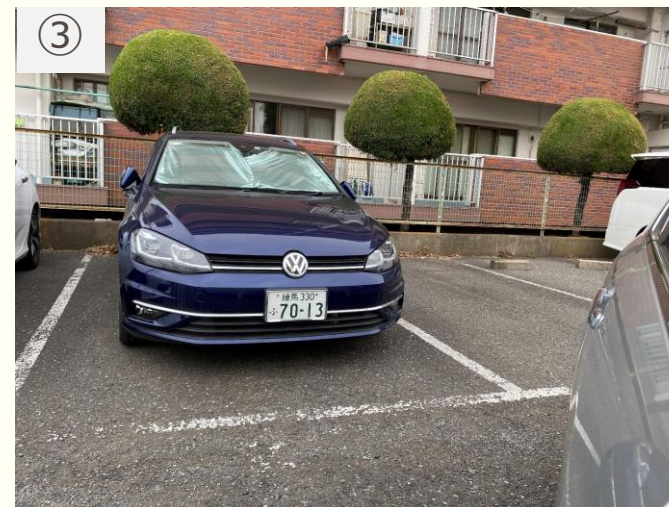
最初はゆったりハンドルで調整しながら
「後輪」と「ポイント」が近づいてきたら
「大きく回していく」イメージです



入庫イメージ（目視）



Basic
knowledge



入庫イメージ（右ミラー）



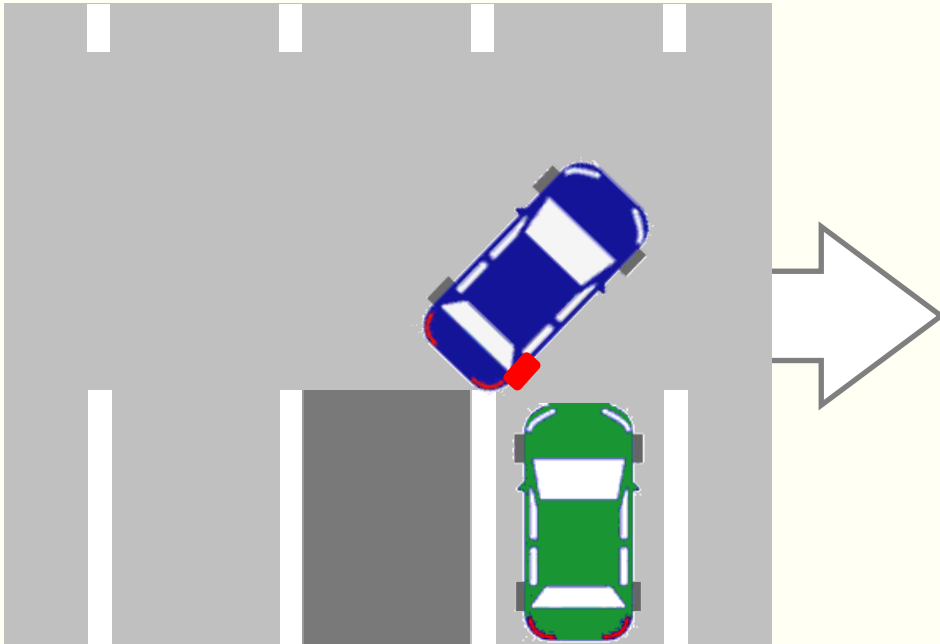
Basic
knowledge



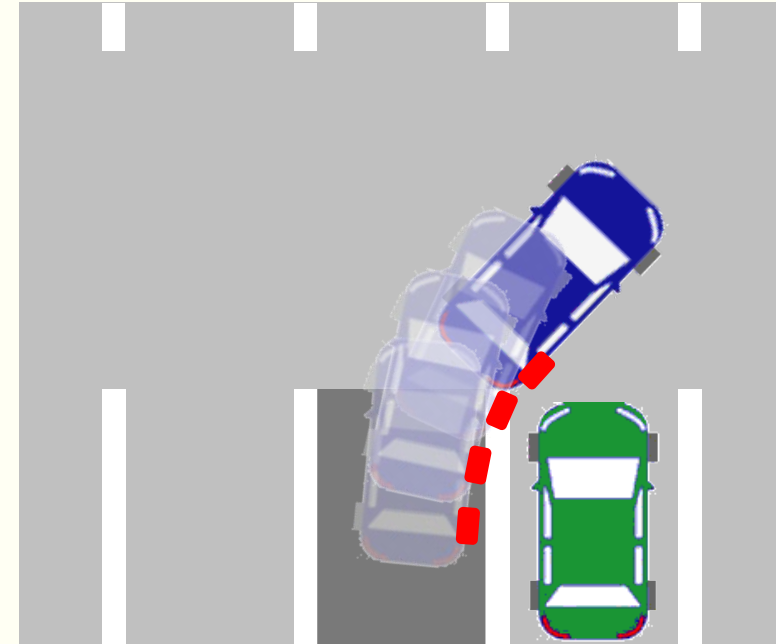
支点（回転軸）の概念と応用

Basic
knowledge

緑の車に当たりそう？



「右後輪」が支点（回転軸）になるため
ハンドルを「右」に切っても大丈夫！

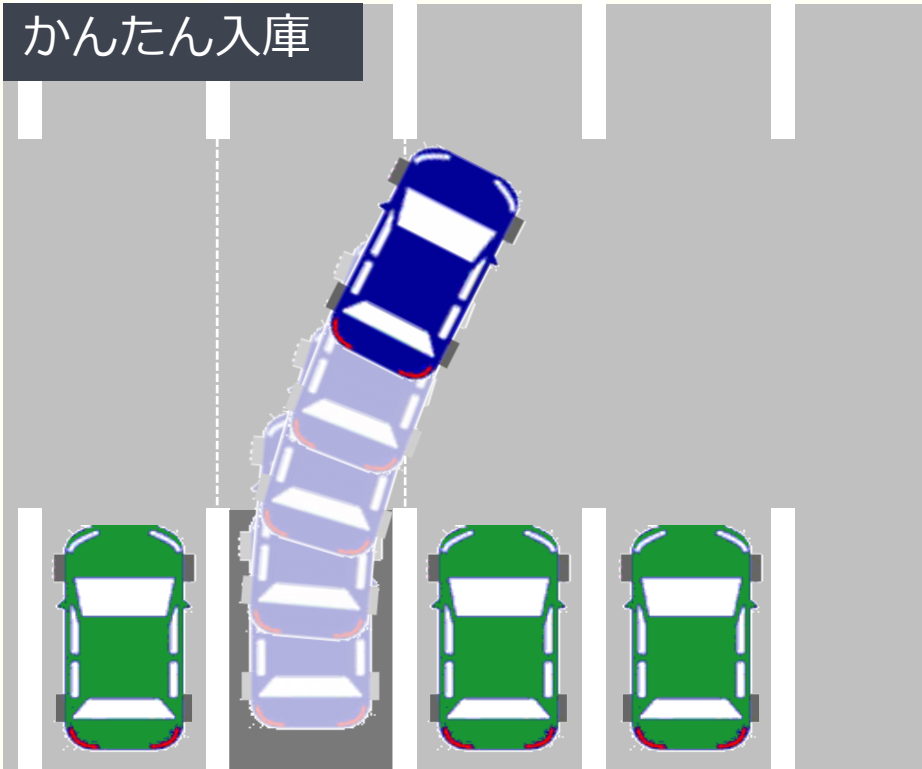


【POINT】
後輪の真横にある物体には当たらない

入庫の考え方（角度の概念）

角度が立てば立つほど、簡単に入庫できる

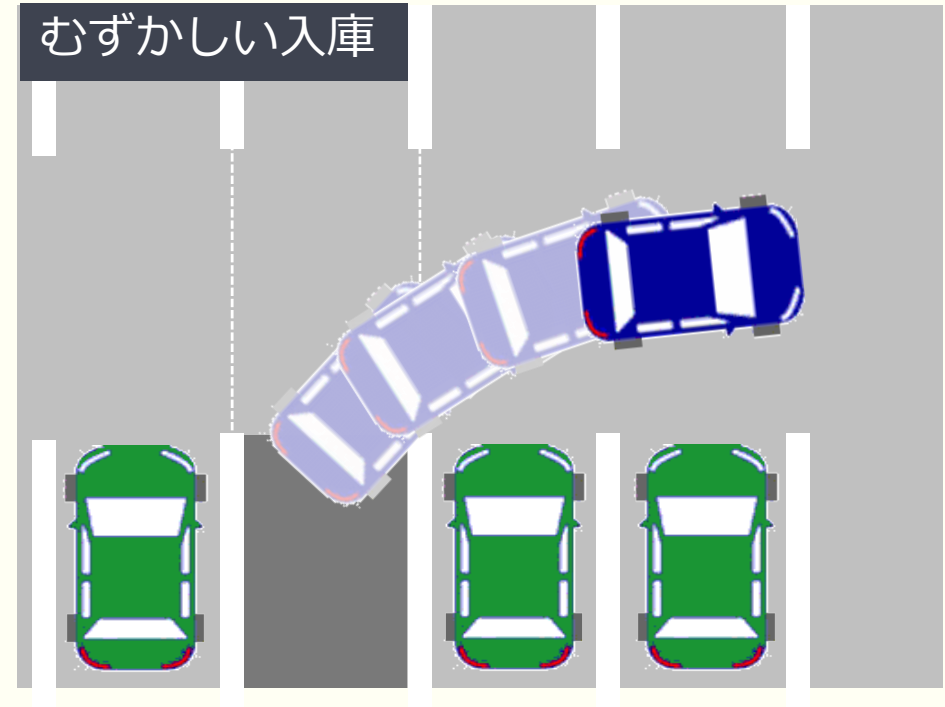
かんたん入庫



この角度を許してくれる
駐車場は少ないよ

角度が寝れば寝るほど、難しくなる

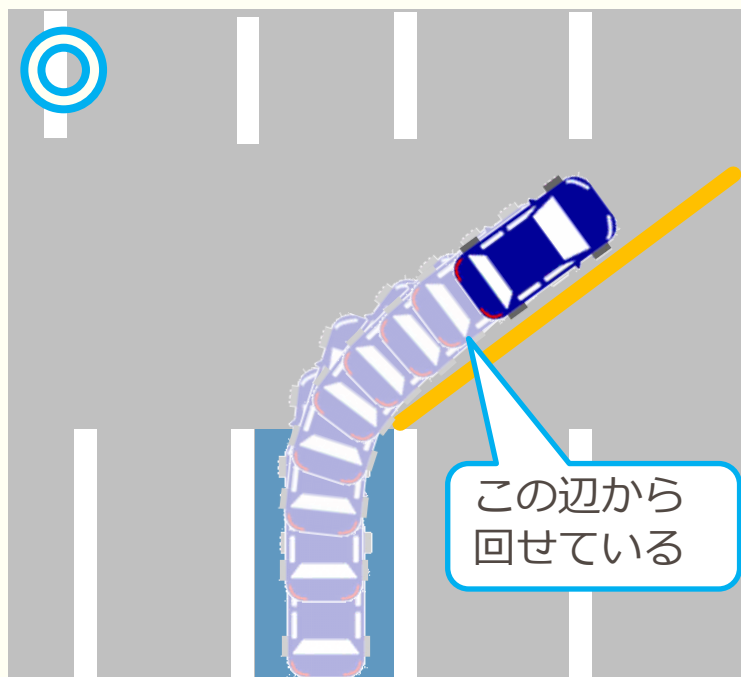
むずかしい入庫



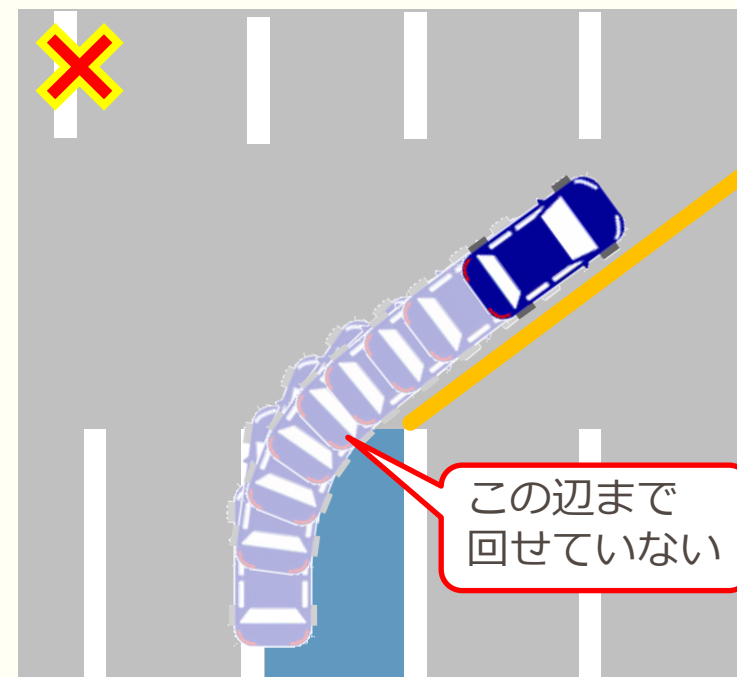
【POINT】
状況に応じて角度調整できるのが理想です

角度の概念を理解して入庫しよう

Basic
knowledge



下がりながらハンドルを回している
(=下がりながら角度を立てている)

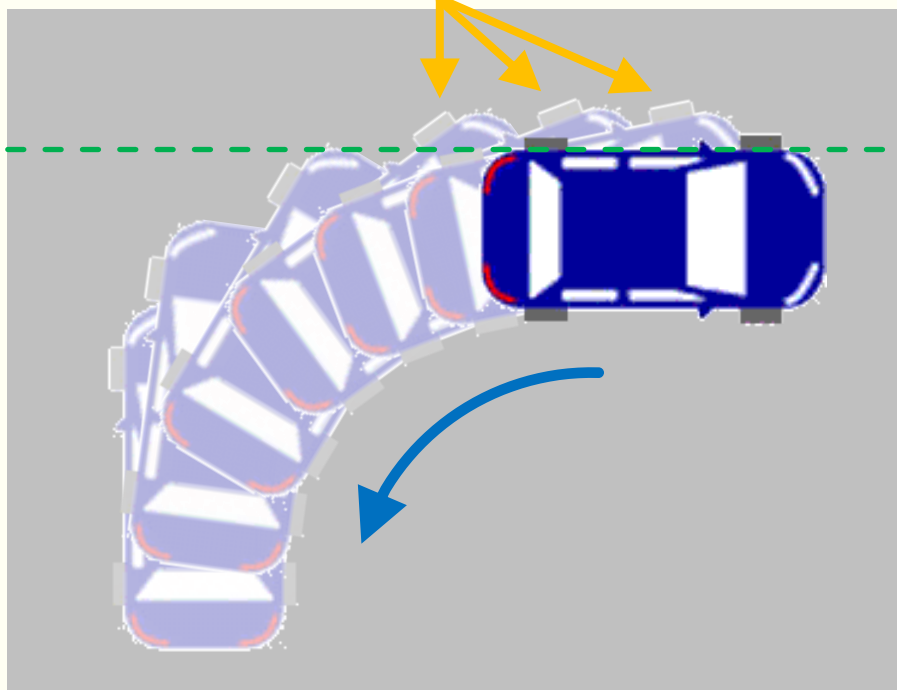


まっすぐ近づいてから一気に回している
(=下がりながら角度は寝たまま)

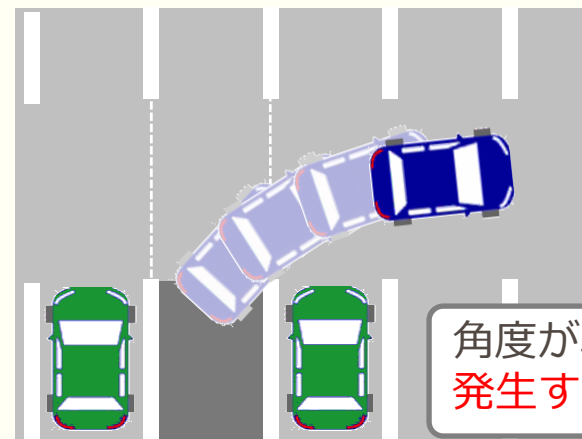
外輪差

Basic
knowledge

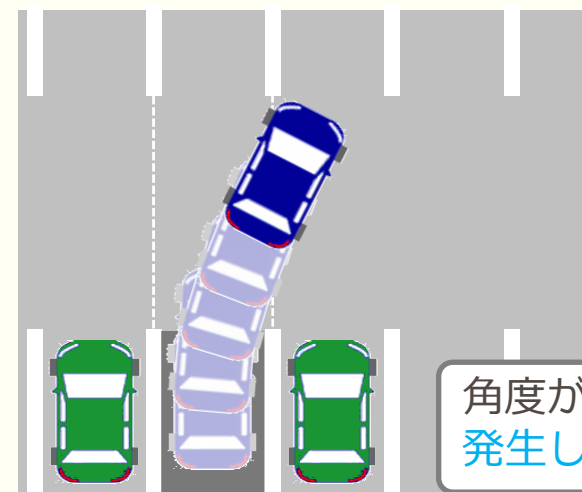
ここの膨らみが「外輪差」



下がる過程で「左前が膨らむ現象」を「外輪差」と呼びます



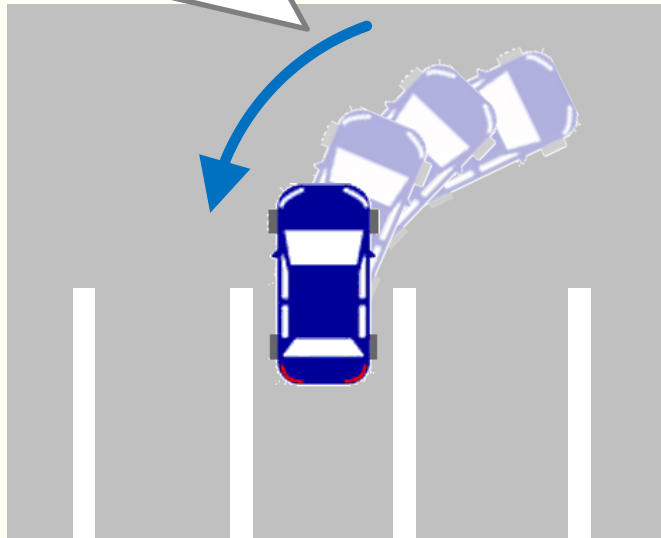
角度が寝るほど
発生する



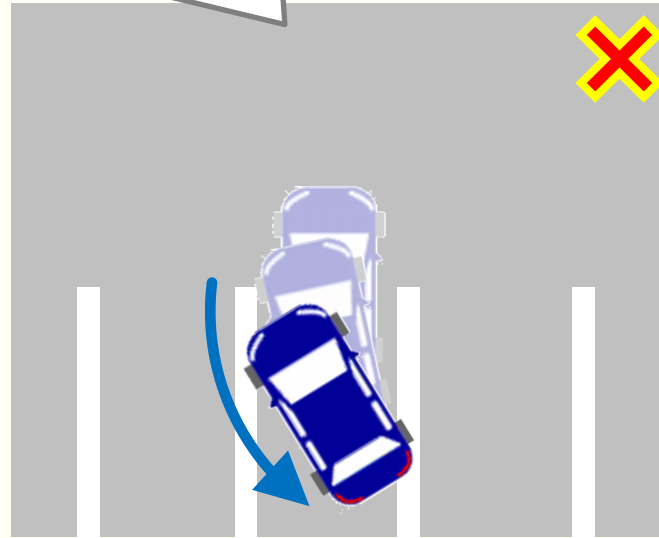
角度が立つほど
発生しない

平行取りを大切にしよう

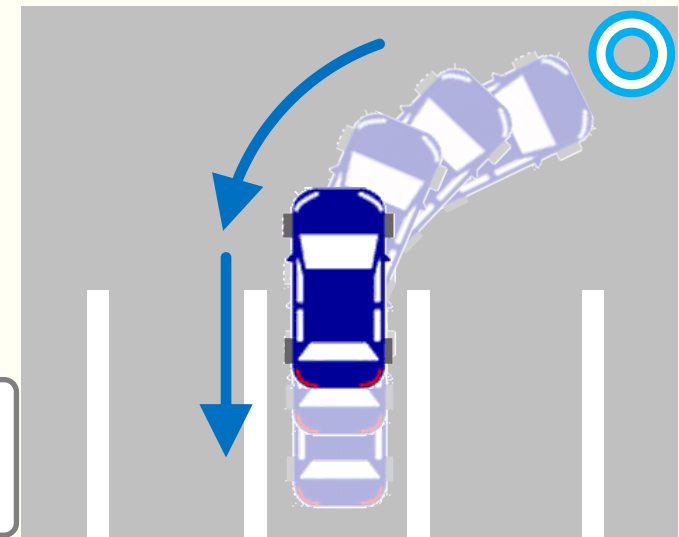
せっかく成功しているのに



流れてしまっって台無しでは
すこし勿体ないですね

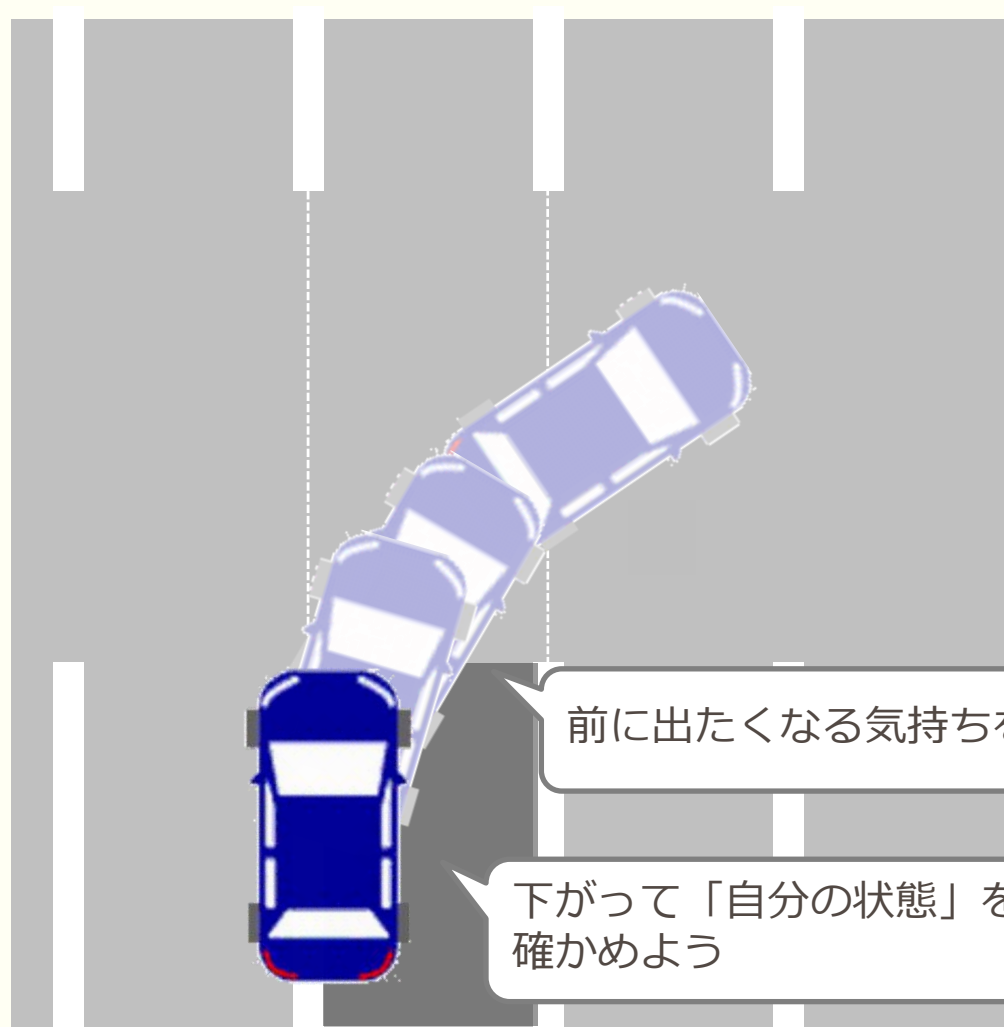


平行になったら「止まっても良い」ので
「ハンドルを真っすぐ」にしてから下がきましょう



入庫の上達の秘訣

Basic
knowledge



入庫は「ズレ幅を確かめること」が大切です

「実行」→「確認」→「イメージの修正」
を繰り返しましょう

前に出たくなる気持ちを抑え

下がって「自分の状態」を
確認めよう

車から降りると
分かり易いよ



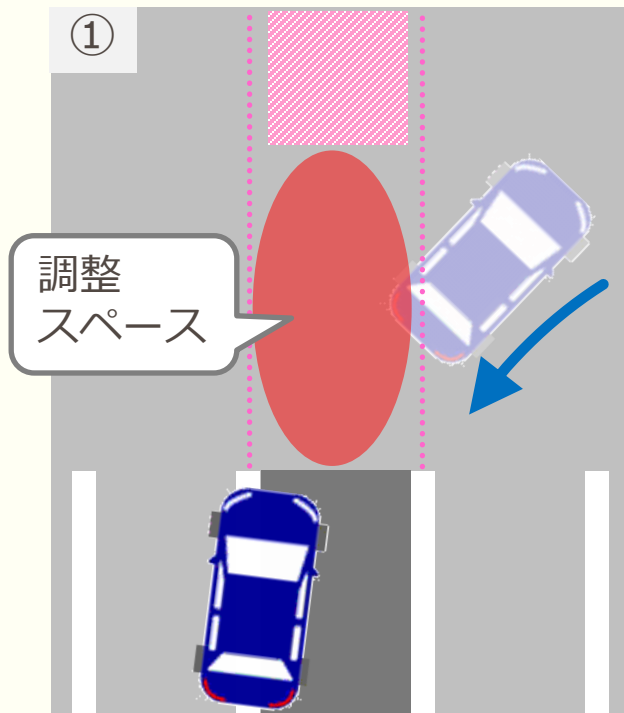


切り返し（センターポジション）

センターポジションの考え方

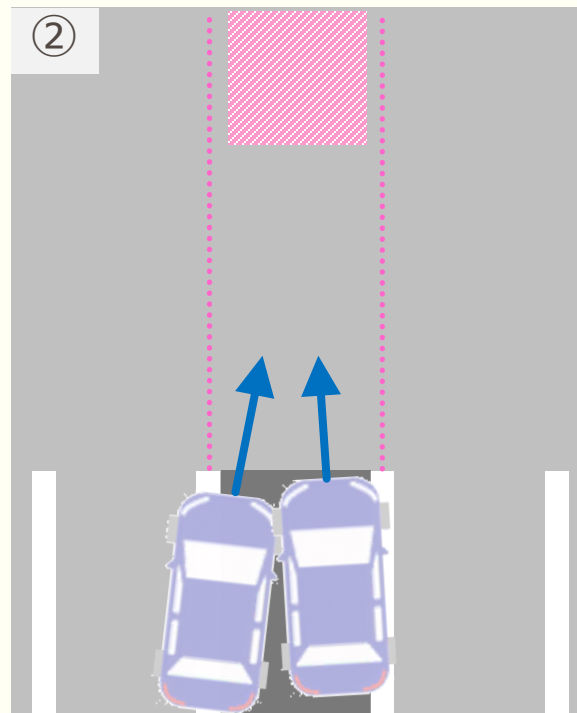


Basic training

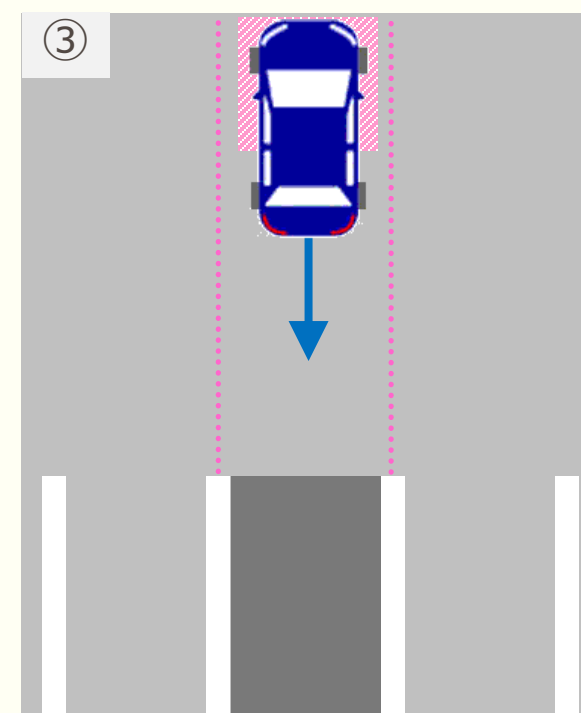


調整
スペース

可能な範囲でしっかり下がり、調整スペースを確保します



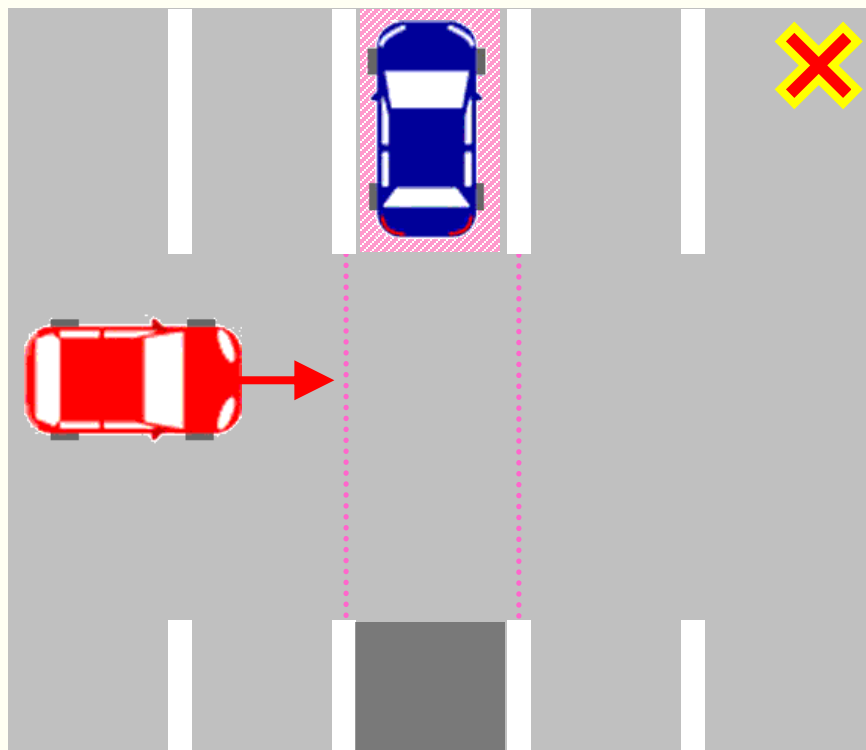
どんな状態になっても考え方は1つ
出来るだけ短い距離でピンク部を
狙います



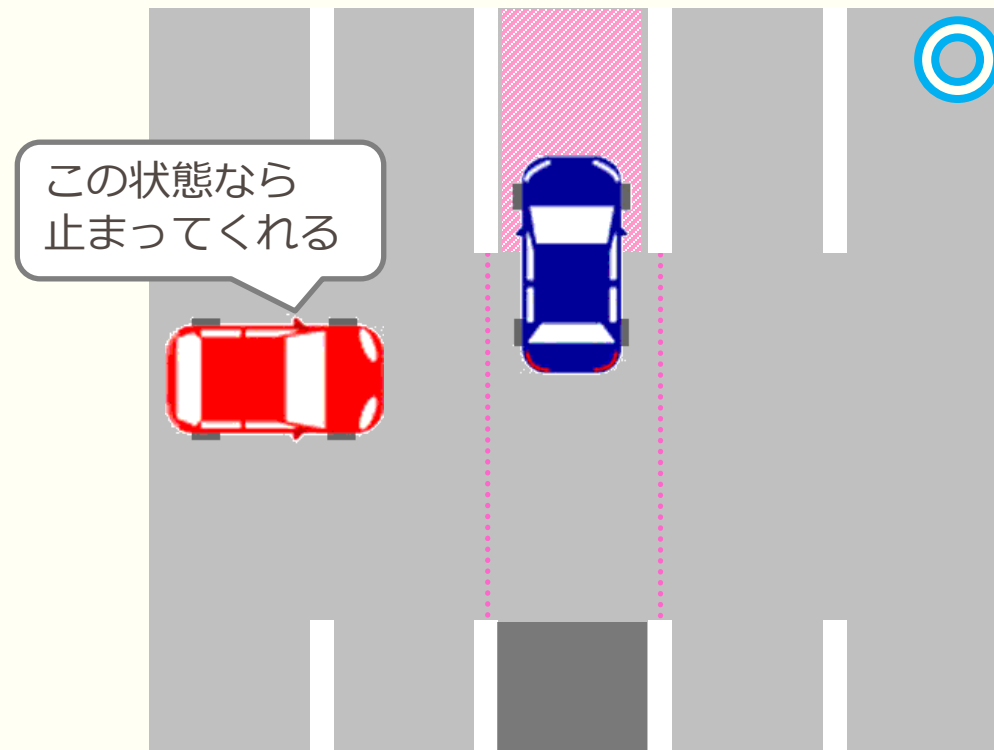
ピンク部に持って行けたら
後は下がるだけです

センターポジションの注意点

Basic
knowledge



センターポジションを取った時に
駐車場に入れきるのは危険です



出来るだけ手前でセンターポジションを取
れるように頑張りましょう

センターポジションの失敗例

Basic
knowledge



センターポジション（動きの質）

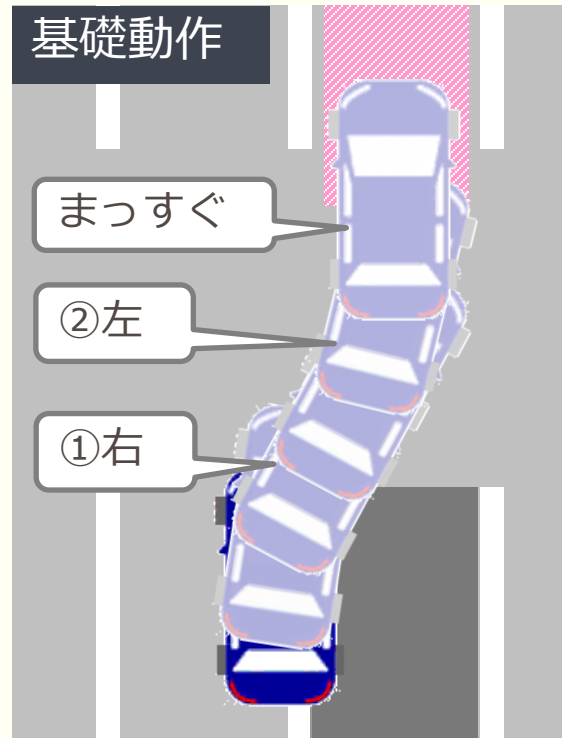
【考え方】

- ・寄せる
- ・平行取る

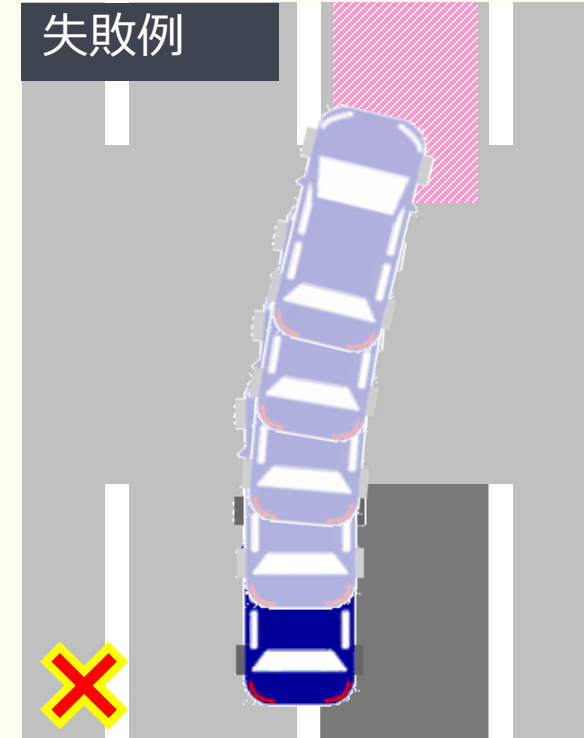
【ハンドルの動き】

- ①右にぐいっ
- ②調整しながら左に回す
- ③まっすぐに戻す

基礎動作



失敗例

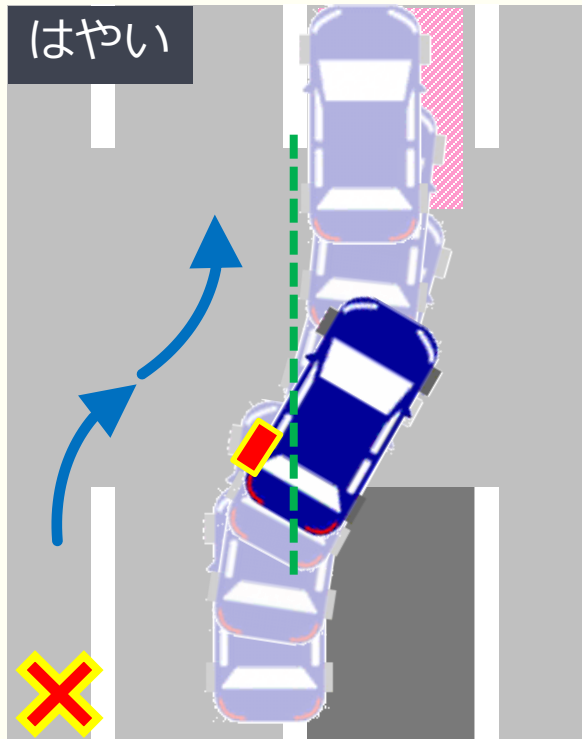


【POINT】

早い段階からハンドルを「グイッと」回し
車体をセンターに寄せましょう
貴重な「調整スペース」が確保できます

「ゆったり」と近づけてい
くと失敗します

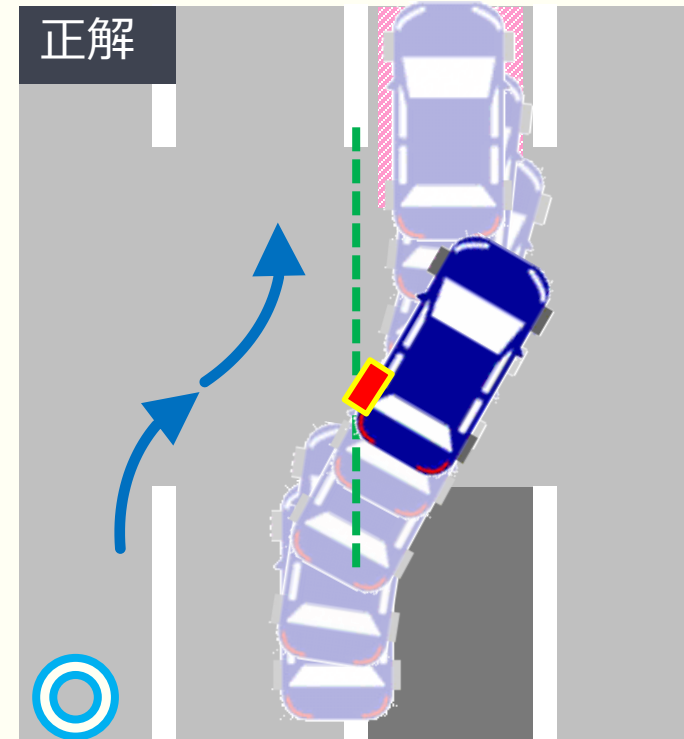
センターポジション（平行取りのタイミング）



平行を取るための
左ハンドルを入れるタイミングが
難しいポイントです
「後輪」の位置を意識して
チャレンジしましょう

後輪が入ってないタイミングで
左に回すと左寄りになる

【POINT】
前向き駐車と一緒に



後輪が近づいてくるまで
左ハンドルを我慢しよう

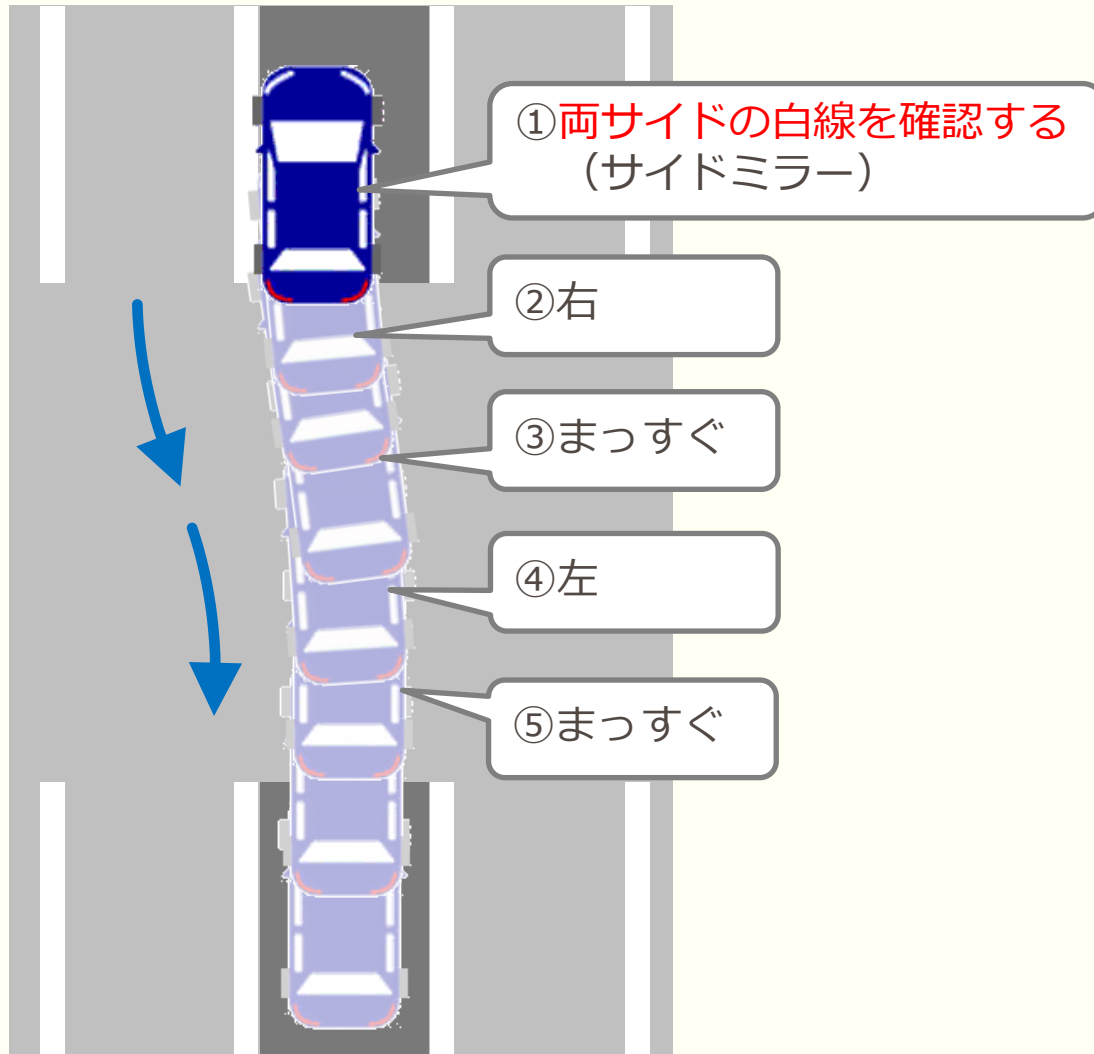


切り返し（縦列動作）

切り返し_縦列動作



Basic
training



センターポジションで前に出ても、微妙にズれてしまう場合があります。最後は「縦列」の動きを利用して微調整で仕上げましょう

【動きの質】

- ①寄せる
- ②平行取る

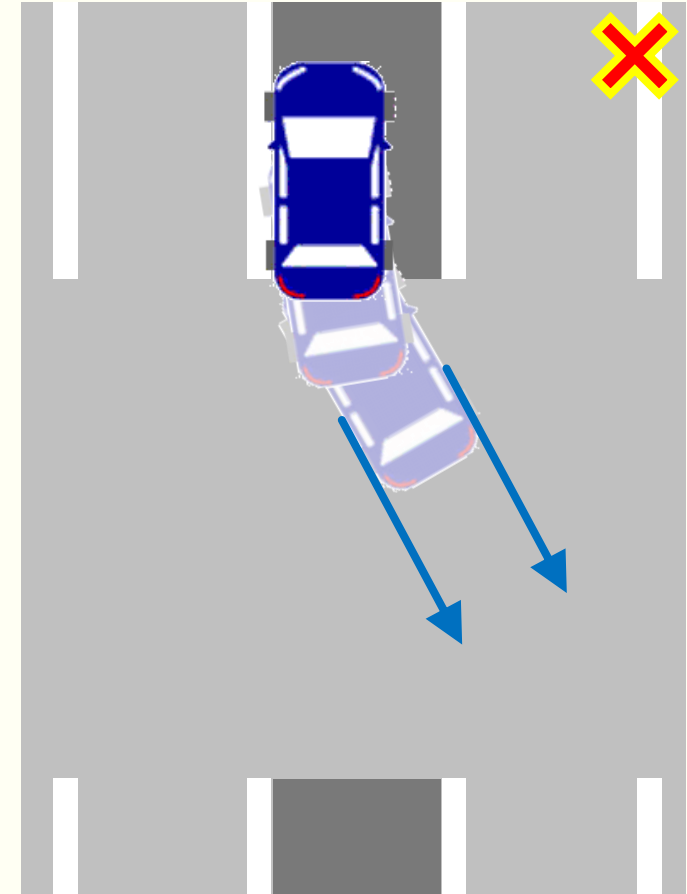
【どっちに回す？】

行きたい方向にハンドルを回す
(その後、逆ハンドル)

縦列動作（白線を捉える）



両サイドの白線を「認識」してから「行動」することが大切です
また両サイドのバランスを取り
「微調整でコントロール」する意識も重要です



ハンドルをむやみに曲げてしまうと
図のような結果になります

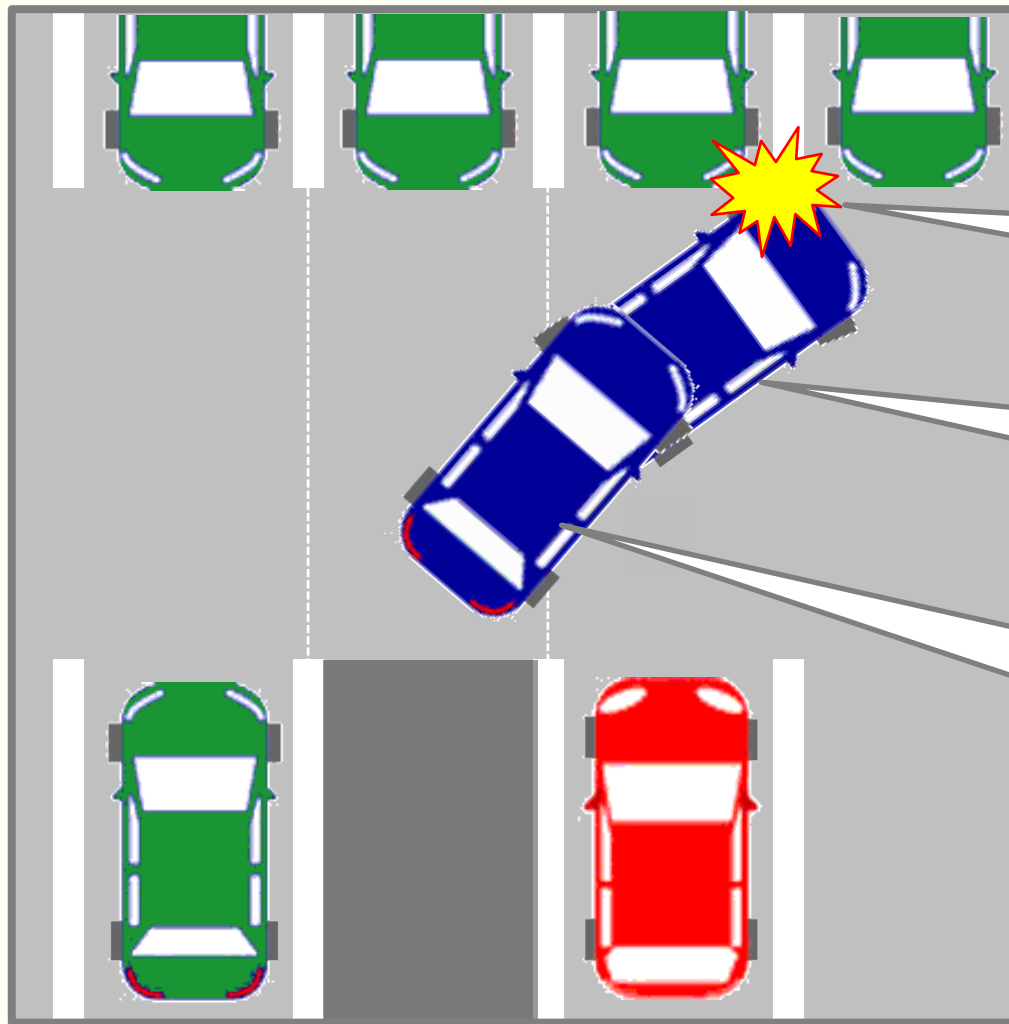


車両間の駐車（右バック・左バック）

車両間の右バック（手順と意識ポイント）



Basic
training

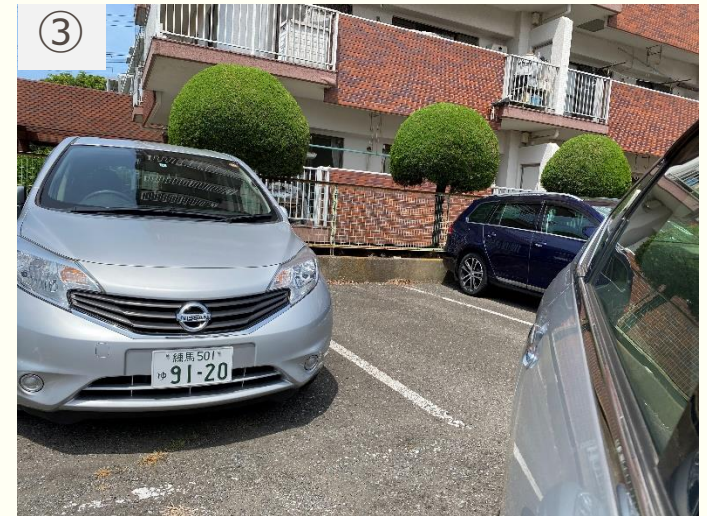
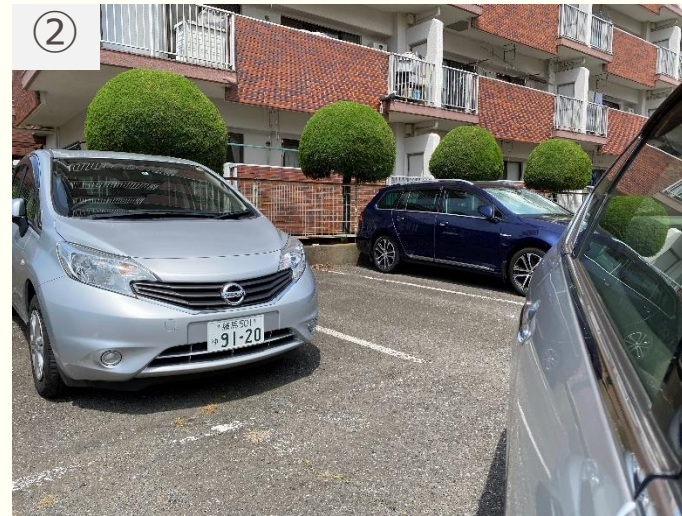


②同時に外輪差も意識する

①「右後ろの車両」に対しハンドルを当てていく
(サイドミラー&目視)

③道中、左のサイドミラーで
「左後方の車両」が見えてきたら
「両サイドのバランス」に意識をシフトする

車両間の右バック（目視）



車両間の右バック（右ミラー）

Basic training



車両間の右バック（左ミラー）



【POINT】 ④の距離感を掴むこと（降りて確認が理想）

車両間の駐車（左バック）



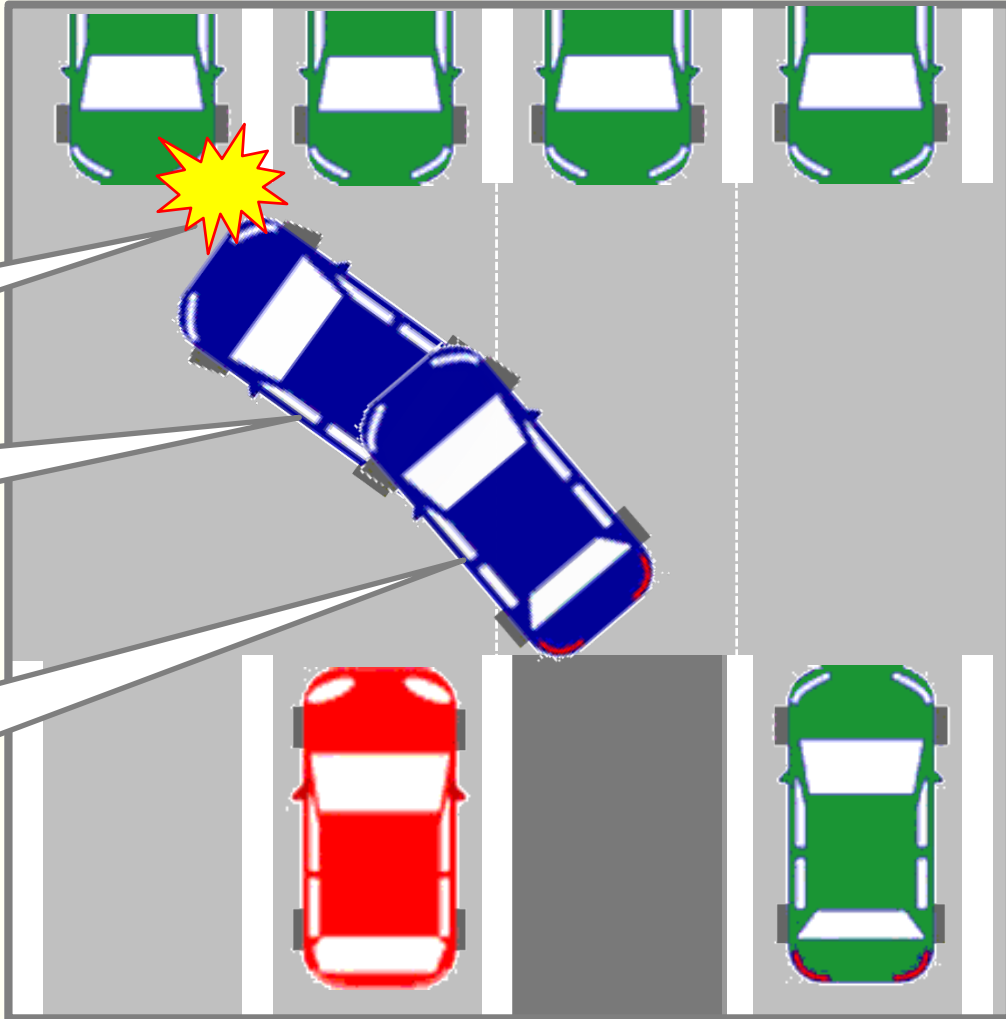
Basic training

【POINT】
手順や方法論は「右バック」と同じ

②同時に外輪差も意識する

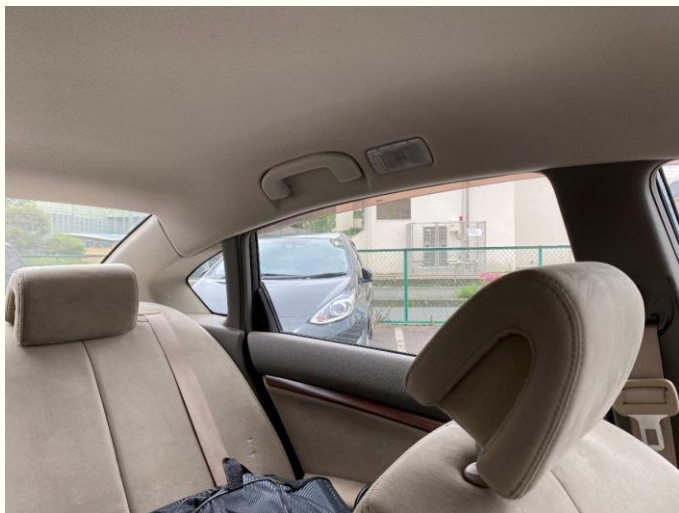
①「左後ろの車両」に対しハンドルを当てていく
(サイドミラー&目視)

③道中、右のサイドミラーで
「右後方の車両」が見えてきたら
「両サイドのバランス」に意識をシフトする



車両間の左バック（目視）

Basic training



車両間の左バック（左ミラー）



車両間の左バック（右ミラー）

Basic training

